

第52回 国際福祉機器展 2025.10.8~10



今年は、10月8日(水)から10日(金)の3日間、東京ビッグサイト西・南展示ホール で開催されました。併せて、Web展は9月1日(月)から11月7日(金)まで開催されています。

福祉機器展は「リアル展×Web展」「機器展示×多彩なイベント」「クリエイティブな未来を拓く」の3つを特徴とし、日常生活の自立促進と社会参加のための福祉機器、リハビリテーション機器や介護機器・用品など、多彩な福祉機器が展示されていました。また、福祉機器や福祉分野の最新情報がよくわかるセミナーや体験企画もあり、最新情報を知ることができる充実した内容でした。

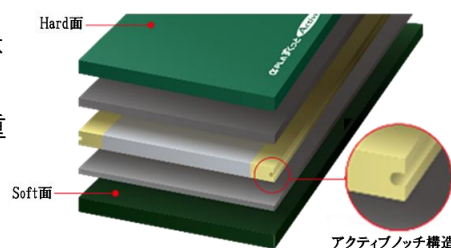
ちょっと気になる?! 福祉機器のご紹介

αPLA ずっと Active

株式会社タイカ (写真はHPより引用)

日常生活にリハビリを自然に取り入れることと体圧分散の両立を追求したリバーシブル設計のマットレスです。ソフト面は、適切に身体を包み込む機能を持つことで体圧をしっかり分散し、ハード面は、理学療法士・作業療法士の意見を参考に、端座位からの立ち上がりをスムーズにする“アクティブノッチ構造”を採用して、自然な重心移動をサポートしてくれるのが特長とのことでした。

私(理学療法士です)も体験してみましたが、ベッド上での動作練習や立ち上がり動作の際にとっても安定感がありました。病棟でのリハビリや介護の現場はもちろん、在宅でのリハビリや自立支援にもおすすめできる製品です。利用者さんの“自分で動きたい”という思いをやさしくサポートしてくれるマットレスだと感じました。(有馬)



JINS ASSIST

株式会社JINS (写真はHPより引用)



今回は、以前から気になっていた「JINS ASSIST」を操作体験しました。

「JINS ASSIST」はメガネに装着し、手を使わずに頭のわずかな動きで直感的にパソコン操作ができる機器です。補助ソフトを使うことで、ショートカットの設定など、個人に合わせたカスタマイズも可能です。

実際に使用してみると、接続も簡単で、パソコンだけでなくスマホやタブレットにも有線であつなぐだけで使える点が魅力的でした。初めての使用ということもあり多少の疲労感はありませんでしたが、操作方法はわかりやすく、違和感なく使うことができました。

現在、レンタルや店頭でのデモは行われていませんが、一部のITサポートセンターなどで体験できる場所が公式ホームページに掲載されています。興味のある方は、ぜひ試してみたいはいかがでしょうか。(吉澤)

EMOS CX

株式会社 テクノスジャパン (写真はHPより引用)

今回は、人の生体信号の一つである筋電(EMG)を利用して、さまざまな機器を操作できる「筋電スイッチ」を体験しました。

操作してみると、機器の設定や調整が想像以上に簡単で、とても扱いやすい印象を受けました。関節の動きがほとんど見られないほどのわずかな筋肉の動きでも、しっかりと信号を検知して反応する様子が確認できました。

この機器は3つの電極を貼り付けて使用するため、貼る位置をどう選ぶかが重要になります。支援者がどの筋肉が一番動かしやすいのかを評価・確認する必要があると感じました。

業者によるデモ機の貸し出しも行われおり、実際に見て触れて体験することが出来ます。興味がある方はぜひご利用ください。(吉澤)



2025 特別支援学校 福祉機器体験会

in 小田原・平塚

地域リハビリテーション支援センターでは、毎年、特別支援学校のご協力をいただき、福祉用具体験会を企画・開催しております。本体験会では、学齢期からライフステージに沿った養育支援や子どもの自立支援、住環境の整備などを検討する機会とすることを目的として、先生方・生徒・ご家族を対象に実施してきました。会場では、移乗機器、生活用具、コミュニケーション機器、避難用具などを展示・実演し、参加者の皆さまに実際に見て、触れて、体感していただける内容となっています。

今年度は、7月25日(金)に小田原支援学校、8月5日(火)に平塚支援学校で開催いたしました。両日とも大変多くの方々にご関心をお寄せいただき、児童・ご家族・学校関係者をはじめ、約150名の皆さまにご参加いただきました。開催にあたりご参加・ご協力くださった企業や関係者の皆さま、誠にありがとうございました。

in 小田原



in 平塚



参加者の声

- ・ 様々な用具を実際に見て触ることができてありがたかったです。
- ・ 初めて知る商品がたくさんあり、勉強になった。
- ・ 保護者の方が何に興味を持っているかを知ることができました。
- ・ 食品関連のサンプルをもらえたり、リフトの相談ができて良かった。

そのほかにも、多岐にわたる貴重なご感想を多数いただきました。

地域リハビリテーション連携構築推進事業

2025年度は、**県西地区**と**二宮町・大磯町**で開催予定です。



テーマや日程など詳細につきましては、
決定次第ご案内いたします。





リハビリテーション専門研修



7.19(土) 地域生活における装具支援

「装具支援格差」の解決に役立つ、下肢装具の知識や制度、問題点やその対策について学びました。さらに、在宅リハの事例をもとに、具体的な解説やグループワークを通して、地域生活における評価や連携の視点を深めることができました。

参加者の声:

在宅のリアルなお話を聞け、退院後の生活も考えて介入していく必要性を強く感じました。また、回復期や生活期など分野を問わずディスカッションする機会はとても貴重でした。



講師:

株式会社 Re ambitious 訪問R-station PT 田代 宙氏
地域リハビリテーション支援センター PT 有馬



講師: 神奈川リハ病院 医師 市川、公認心理師 林
ST 谷口、OT 清水、SW 中澤
秦野支援学校 教諭 高橋 氏

7.26(土) 高次脳機能障がいセミナー 小児編

高次脳機能障がいの支援では、発達障がいとの相違点だけでなく共通点にも目を向けることで、双方に活かせる知識や対応の重要性を学びました。また、医療機関や教育現場での支援事例から、評価や支援の方法についても理解を深めることができました。

参加者の声:

高次脳機能障がいと聞いて身構え、さらに小児であることから「難しい」という先入観がありました。ですが、高次脳機能障がいと発達障がいの両面を理解することで、落ち着いて支援に臨める安心感をられました。

8.23(土) 高次脳機能障がいセミナー 理解編

高次脳機能障がいについて、生活の安定を基盤とした「適度な活動」の重要性を学ぶことができました。また、当事者の方によるバイオリン演奏やインタビューを通して、いきいきと日々を過ごすためのポイントについて、共に考え、理解を深めることができました。

参加者の声:

当事者の演奏会が大変興味深く、ご本人やご家族のお話を直接聞けて貴重な機会でした。1日を通して、周囲の理解、支援の輪、幅を広げることの重要性を感じました。



講師: 神奈川リハ病院 医師 青木、公認心理師 白川
コーディネーター 佐藤



講師: 静岡リハビリテーション OT 串田 英之 氏

9.6(土) 車いすシーティング

車いすやクッションを選ぶ際に必要となる基礎知識と、車いすシーティングにおける問題点の発見から解決までのプロセスについて、講義・体験・事例紹介を通じて学びました。また、快適なシーティングを実現するために、多職種連携を整理したツールを通して理解を深めることができました。

参加者の声:

シーティングの必要性について理解を深めることができました。骨盤サポート、アンカーサポートがあれば楽に座れることが実技で体感できました。

9.27(土) ADL支援の知識と実践

ADL(日常生活動作)支援を行う上で必要な知識や理論を発達の観点から学びました。動作分析や治療的誘導の方法などを実技を通して体験し、臨床現場で実践できる内容の研修でした。

参加者の声

ADLとは自分で考えてたものより、もっと範囲が広く、深いものだと感じました。また知覚すること、環境への適合の重要性を改めて知ることができました。実技も多く取り入れて下さり分かりやすい講義でした。



講師: エフィラグループ株式会社
訪問看護リハビリステーション マカロン平塚
OT 松田 哲也 氏



11～1月までの専門研修会予定

摂食嚥下障がいのある方への支援	11月15日（土）	神奈川リハビリテーション病院
高次脳機能障がいセミナー 実務編	12月13日（土）	神奈川工科大学ITエクステンションセンター
高次脳機能障がいセミナー 就労支援編	1月24日（土）	神奈川工科大学ITエクステンションセンター

各研修は、研修開催日の約2ヶ月前からお申し込みいただけます。
ホームページのお申込みフォームよりお申し込みください。



ご参加
お待ちしております♪

神奈川県高次脳機能障害支援養成研修について

令和6年度の障害福祉サービス等報酬改定において、「高次脳機能障害を有する者への支援に対する評価」として加算が新設されました。これに伴い、神奈川県では今年度から研修を開始しています。研修は「基礎研修」と「実践研修」に分かれ、それぞれ講義と演習で構成されています。講義はeラーニング形式で行い、演習は対面で実施しています。今年度の第1回研修はすでに修了し、第2回目の開催を予定しています。

演習は9月30日と10月1日に神奈川近代文学館で対面開催され、グループワークを中心に活発な意見交換が行われました。アンケートでは、「異なる立場の意見を知ることができてよかった」「グループワークを楽しめた」といった前向きな感想が多く寄せられました。一方で、長時間の講義と演習に対するご意見もいただきました。

研修は国が定めたカリキュラムに基づくため、当センターで調整が難しい部分もありますが、より良い支援者養成研修となるよう、今後も工夫と改善に努めてまいります。また、本研修を通じて高次脳機能障害の支援を理解する方が増え、県内のどこでも支援が受けられる体制の充実につながることを願っております。

なお、当センターが従来から行っているセミナー等も引き続き開催しております。あわせてご参加いただけますと幸いです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。（佐藤）



令和7年 4月～9月末までの 専門相談実績

()の数字は訪問数

	神経・筋 疾患	脊髄 障害	脳血管 障害	骨関節 疾患	後天性 脳損傷 (除くCVA)	脳性 麻痺	知的 障害	視覚 障害	その他 (切断・ 加齢等)	不明	合計
県央	10(2)		2		2	5(1)	3(1)		1		23(4)
湘南東部	3						1	2			6
湘南西部	5(2)						1	1		3	10(2)
県西			4(1)			1					5(1)
横須賀・三浦	2(1)		1								3(1)
横浜市								1			10
川崎市			1						1		2
相模原市		1						1			2
県外				1							1
合計	20(5)	1	8(1)	1	2	6(1)	5(1)	14	2	3	62(8)

	障害者 更生相談所	居宅介護 支援事業所	市町村	地域包括 支援事業所	本人・ 家族	障害者 相談支援 事業所	障害者 施設	医療 機関	訪問看護 事業所	保健福祉 事務所	高齢者 施設	訪問介護 事業所	教育 機関	その他	合計
県央			1	2	2	6	5(2)		3	3(2)				1	23(4)
湘南東部						1	2	2	1						6
湘南西部		4(2)			1	4					1				10(2)
県西		1				1			3(1)						5(1)
横須賀・三浦		1			1	1(1)									3(1)
横浜市					8									2	10
川崎市					1	1									2
相模原市					1									1	2
県外								1							1
合計	0	6(2)	1	2	14	14(1)	7(2)	3	7(1)	3(2)	1	0	0	4	62(8)

編集
後記

秋の深まりとともに、心落ち着く時間が増えてきました。私事ではありますが、先日第1子が誕生しました。日々の小さな成長に喜びを感じつつ、皆さまにとっても実り多い秋となりますようお願いしております。（吉澤）

〒243-0121 神奈川県厚木市七沢516
神奈川県総合リハビリテーション事業団
地域リハビリテーション支援センター
☎ 046-249-2602
FAX 046-249-2601